

文化六 岡山鳥作 国貞画  
山手柳鳥手梁色揚

三八〇四

大屋書房  
TEL (291) 0062  
東京, 神田, 神保町, 1, 1

国  
特別  
1965

国  
2  
/51/



40.8.26

ア306531



文化六巴已春

岡山鳥



白亭 晴龍  
 鶴のまほ似をする鳥くわらねども何だかこが  
 をまろしうとせとせとれがよく影も似たりとせも  
 鳥をさうとせとせ鳥のおねをけつめを思てた鳥  
 のまほをまほとせとせの柳柳もあつた鳥  
 早除草素人やたの創色の跡もあつた鳥  
 けりだけり色揚をひらるももみれあえり  
 紺屋新の刺をはずも又刺堂の主人よ  
 すえて新梓張を希ふのこ



52  
 丁



○吉田女児  
阿天流



七言  
 竹の葉もあやふさふさ  
 子の道さへしきり  
 むくひも天よあれ

○荒志君次兵衛



○高島奴隸  
與九郎



七言  
 ちりみ男さるやも咽さそ  
 ちの中よももりわうくね  
 はえんせんよやとまてや  
 松は標へ現れれみりれ

○吉田奴隸  
與五郎

しんま



















八巻



八巻

八巻

Handwritten text in vertical columns, likely a poem or narrative, written in a cursive style.



Small handwritten text located below the illustration on the left page.

Handwritten text in vertical columns, including a large title or section header.



Large block of handwritten text on the right page, surrounding the illustration.



Handwritten text in a cursive style, likely a form of shorthand or a specific dialect, arranged in vertical columns. The text is dense and covers most of the lower half of the page.

Handwritten text on the right margin of the page, possibly a page number or a reference mark.













東都 岡山鳥作  
歌川國貞画

野代柳湖刀

東夷午の年新板



山東京傳先生著作

當の冬より  
本より知る



引書園大曆  
趣向太平記

兼好法師筆物狂

全十卷  
合二冊

歌川國貞先生画圖

東夷午の年新板



式亭三馬先生著作

當の冬より  
本より知る



二佐流卷物  
筑後節正本

物草太郎昔繪容

全八卷  
合二冊

一陽齋 歌川豐國先生画圖



非標史諸君一覽有益書

取遺 通案書

百家 文章自在

近道 算筆早まひ

教訓 謹身往來

江戸年中のり

公学早まひ

十返舎一九子集文  
年中のりく入用なる書集文之  
わのりといはしむる本をいふ

御家流月夜先生書  
大字加紙附きあり公学大冊  
等々といふ

十返舎一九著  
上の紙のりく入用の用文書下は紙  
のりかき相場早刻の法といふ

江戸高貴往來といふ  
いづくの文字といふのりく  
鬼にといふ

御江戸年中のりく  
花より名所集といふ  
はしむるのりく

教訓といふ  
本往入り

卷

七

卷七

書

卷